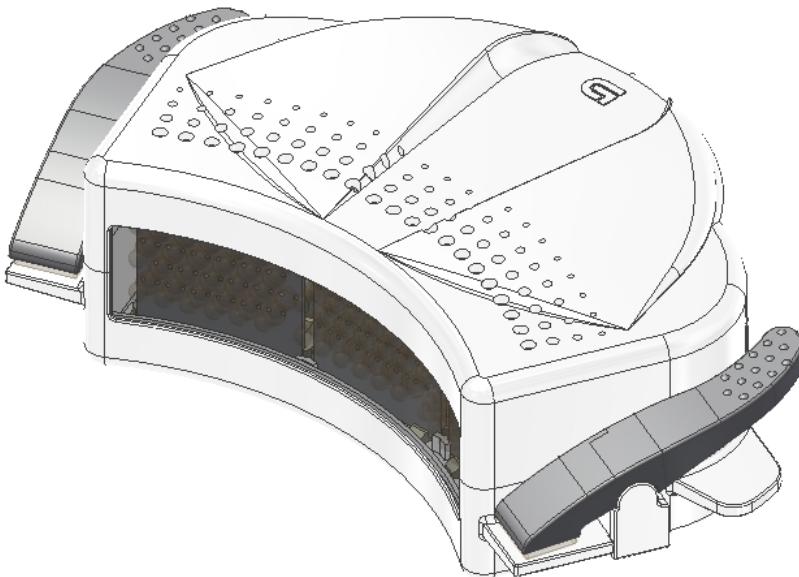


歯面漂白用加熱装置
ブリリカ ビアンコ
取扱説明書

製造販売届出番号
14B2X0003600008 号

安全にお使いいただくために必ずお読み下さい。



このたびは、『ブリリカ ビアンコ』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

●ご使用になる前に、この取扱説明書の  警告、 禁忌・禁止、 注意をよくお読みいただき正しくご使用ください。

●この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、わからない時は再読してください。

●電子添文（添付文書）は外箱、この取扱説明書の裏面（最終ページ）または製品に貼付している銘板のいずれかの GS1 バーコードを添付文書閲覧アプリ（添文ナビ）にて読み込みご確認ください。

添文ナビは右の「添文ナビ」QRコードよりご参照ください。

※銘板の貼付場所は取扱説明書の各部名称のページでご確認ください。



添文ナビ

正しく使って効率アップ

 株式会社 東京技研

目次

■機器の表示記号	3
■安全上のご注意	3～4
■リチウムイオンバッテリの取扱い	5
■医療用電気機器の安全および危険防止のための使用上の注意事項	6
■輸送及び保管に関する環境条件について	7
■電磁適合性について	7
■廃棄について(環境保護)	7
■概要	7
■梱包内容	8
■各部名称	9～10
■初めてご使用になる前に	11
■コントローラ詳細説明	12～13
■バッテリ残量表示について	13
■ローバッテリアラーム機能	13
■エラー表示について	14
■お知らせ受信機詳細説明	15
■使用方法	16～17
■充電方法	17
■着脱可能な部品(消耗品)	18
■着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)	18
■清掃方法	19
■日常点検・定期点検	19
■トラブルシューティング	20
■仕様	21
■アフターサービス	24

機器の表示記号

機器に表示されているマークのところについて、下記を参考すること。



装着部の電撃の保護の程度による分類の「B形装着部」を意味しています。

安全上のご注意

本書ではお使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

- 安全に関わる注意事項を、その危険の大きさの程度によって、次の表示で区分して説明しています。

	警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	禁忌・禁止	「特別な事情により本医療機器を適用すべきでない患者についての情報」、「使用目的や適応患者等、製造販売業者の責任範囲を超える不適切な使用方法」、「併用してはならない医療機器」を示しています。
	注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分して説明しています。

	してはいけない禁止事項を示しています。
	必ず実行していただく強制・指示事項を示しています。

警告



- ・患者には専用の保護めがねを装着させ、光源を直視しないこと。
[視力低下、失明等の恐れがあるため]
- ・照射を行う前に患者に緊急停止の方法を伝えること。 [患者への怪我の防止のため]
- ・歯肉又は口腔粘膜の保護を行って施術すること。
[照射時にメラニン色素沈着（日焼け）のおそれがあるため]

⚠ 禁忌・禁止

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・次の過敏症及び症状のある患者には使用しないこと。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 光線過敏症および光線過敏症を発症する可能性のある薬剤を服用している 2. 無カタラーゼ症 [過酸化水素（ホワイトニング剤）を分解する酵素を持っていないので、体内に薬剤が残ってしまうため] 3. ラテックスアレルギー [じんま疹等がみられ、重症になると喘息（ぜんそく）発作やアナフィラキシー反応を生じる可能性があるため] 4. レジンアレルギー [皮膚の湿疹、蕁麻疹、水ぶくれ、かゆみ、赤み、痛み等の症状を生じる可能性があるため] 5. 呼吸器疾患 [蒸散する過酸化水素蒸気により、呼吸器系の不具合症状を生じる可能性があるため] 6. 妊娠中・授乳中 [過酸化水素が、母体や母乳に影響を及ぼす可能性があるため] 7. う蝕歯、幼若永久歯、エナメル質形成不全、象牙質形成不全の症状 [う蝕歯や歯の発達が十分でない場合、薬剤の影響で歯の神経である歯髄が痛む等の症状を生じる可能性があるため] ・歯面漂白用加熱装置の目的以外の使用はしないこと。
---	---

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合状態での使用はしない。 ・機器の改造および分解はしない。 ・未整備状態での使用はしない。(未整備状態とは、定期点検や日常点検を行っていない状態を言う) ・本体・コントローラ・お知らせ受信機は水がかかる場所に置かない。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ・植込み型心臓ペースメーカー又は植込み型除細動器を使用している患者において 使用中、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用を中止すること。 [本製品から発せられる電磁波によりペースメーカー又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがある。] ・照射完了後も冷却ファンは1分間回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源をOFFにすること。

☆下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。

- ① 当社または当社の指定した業者以外による改造・保守および修理
- ② 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷
- ③ 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理
- ④ この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合
- ⑤ この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による場合
- ⑥ 火災・天災（地震・水害・落雷等）の場合

リチウムイオンバッテリの取扱い

ブリリカ ビアンコは電源にリチウムイオンバッテリを使用しています。

ブリリカ ビアンコをご使用の際は、必ず下記の内容をお読みになってからご使用下さい。

・ご使用前

1. ブリリカ ビアンコを初めてご使用される場合は、必ず充電してからご使用下さい。
2. リチウムイオンバッテリは使用していない時でも自己放電します。
3. ご使用される際にはバッテリ残量を確認し、必要に応じて充電を行って下さい。

・保存について

1. ご使用後、長期間使用しない場合はコントローラからリチウムイオンバッテリのコネクタを取り外して保管して下さい。
2. 長期間ご使用されない場合は1ヶ月に1度リチウムイオンバッテリの残量をご確認下さい。
その際、電源が入らない、残量表示がbt0等の場合は充電を行って下さい。
バッテリ残量の確認方法はP13.【バッテリ残量表示について】をご参照下さい。
3. 高温多湿や直射日光が当たる場所を避けて保管して下さい。

・寿命の目安

1. リチウムイオンバッテリの寿命目安としては300～500サイクル（充放電）となります。
2. 充放電を繰り返すと、バッテリの劣化が起こり連続使用可能時間も短くなります。
3. 使用頻度、保存環境によっては前後する場合がございます。
4. 連続使用可能時間が短くなったと感じたら新品と交換して下さい。

※リチウムイオンバッテリは上記寿命にあてはまらない場合も、3年毎のバッテリ交換を行なってください。
(廃棄に関しては、各自治体の規定に従って廃棄を行って下さい。)

⚠ 危険



- ・リチウムイオンバッテリ端子に針金などの金属類を接触させないこと。
・火の中に投下しないこと。
・針を刺したり、たたいたり踏みつけないこと。



- ・リチウムイオンバッテリを取付するときは向きを確かめ、うまく取付できない場合は無理に取付しないこと。[バッテリの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。]

⚠ 警告



- ・落下による変形、傷など異常がみられる場合は使用を取りやめること。
・使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などみられた場合はただちに使用を取りやめてリチウムイオンバッテリをコネクタから外すこと。
[バッテリの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。]

⚠ 注意



- ・分解・改造はしないこと。
・濡れた手でリチウムイオンバッテリのコネクタに触れないこと。

万が一、変形・破損した場合は使用を中止し、購入先または当社までご連絡下さい。

医療用電気機器の安全及び危険防止の為の使用上の注意事項

1. 歯科医師及びスタッフ以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を取り付けるときには、次の事項に注意すること。
 - ①水がかからないようにすること。
 - ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所で取り付けること。
 - ③傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所で取り付けを行わないこと。
 - ⑤電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意すること。
3. 機器を使用する前に次の事項に注意すること。
 - ①全てのコードの接続が正確でかつ安全に接続されていることを確認すること。
 - ②専用コード以外は接続しないこと。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - ①機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。
 - ②機器に異常が発見された場合には機器の動作を止めるなど、適切な措置を講ずること。
 - ③患者が緊急停止ボタンを押して中断アラームが鳴った際には速やかに患者のもとに向かい適切な処理を行うこと。
 - ④短時間での ON・OFF の繰り返し運転を行わないこと。
 - ⑤照射中にバッテリケースを開けないこと。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - ①照射完了後も冷却ファンは1分間回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源をOFFにすること。
 - ②コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
6. 故障した際は勝手にいじらず適切な処置を行い、修理は購入先又は当社に任せること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 異常音がする場合は使用しないこと。
9. 保守点検
 - ①清掃の方法
『清掃の方法』を参照
 - ②しばらく使用しなかった機器を再使用する際には、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認すること。

本機使用中に異常が感じられた場合は、コントローラ内部のバッテリコネクタを外し、購入先または当社までご連絡下さい。

輸送及び保管に関する環境条件について

1. 水や溶剤がかからないように保管すること。
2. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれない場所に保管すること。
3. 傾斜、振動、衝撃(輸送時含む)など安定状態に注意すること。
4. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
5. 周囲温度範囲-10°C～40°C、相対湿度 20%～90% (非結露) の範囲で保管すること。

電磁適合性について

本製品は、医療用電気機器の電磁両立性の規格に適合しています。
ただし、生命維持機器など、電磁障害で重大な危険性が生じる恐れのある機器は、
本製品の近くでは使用しないこと。

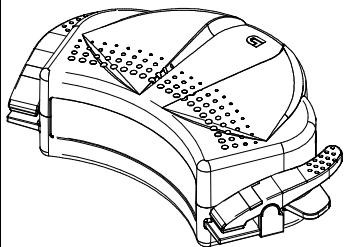
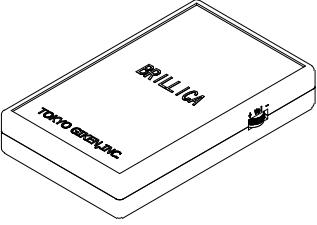
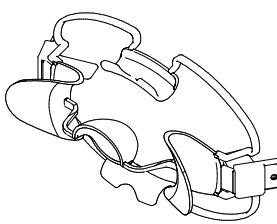
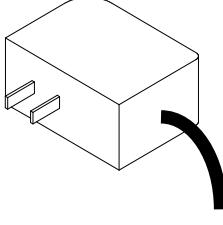
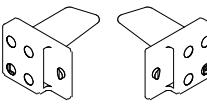
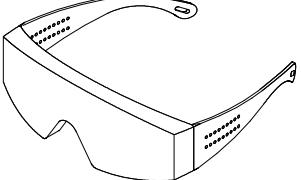
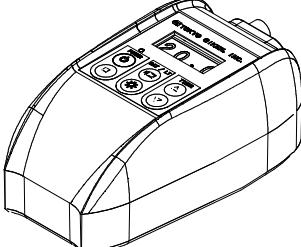
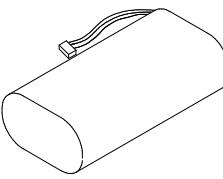
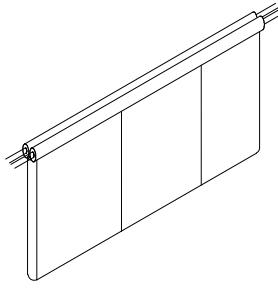
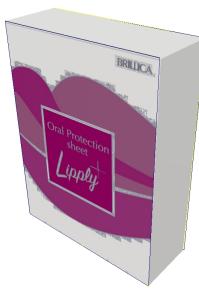
EMC適合

廃棄について（環境保護）

本製品、又は付属品を廃棄する場合は、環境への影響を制御するために、血液や病原微生物等が付着している
恐れがある為、感染性廃棄物として滅菌消毒を行った上で、特別管理産業廃棄物の取得許可を取得している業者に
処理委託を行うか、購入先又は当社までご連絡下さい。
また、リチウムイオンバッテリの廃棄に関しては、各自治体の規定に従って廃棄を行って下さい。

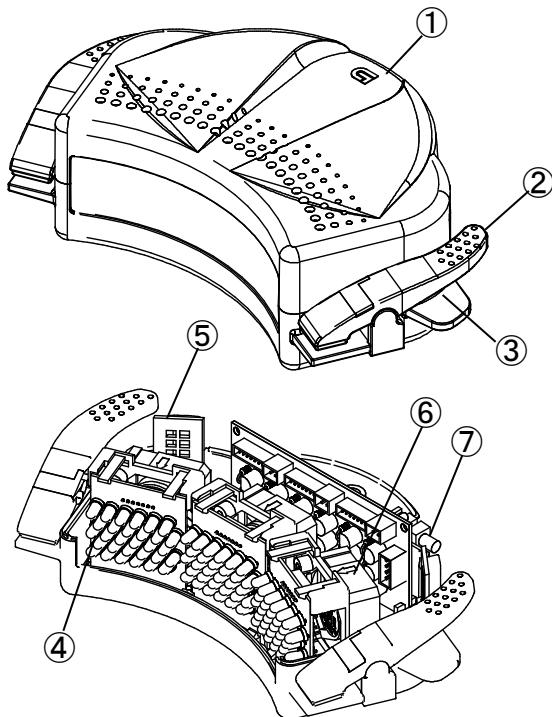
概要

- ・使用目的は、口腔内の歯牙に塗布した漂白剤を光照射にて加熱する熱源です。
- ・本製品は、ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS と組合せることにより、照射距離が一定で安定した
照射の効果があります。
- ・本製品は電源にリチウムイオンバッテリを使用しています。
- ・お知らせ受信機を使用することで離れた場所でも、照射終了・中断を知ることができます。

	本体		お知らせ受信機
	ブリリカ用開口器×1 ブリリカ用開口器 SS×1		ACアダプタ
	アタッチメント 左・右セット×2		保護メガネ
	コントローラ		ストラップ
	リチウムイオンバッテリ		収納袋保管用
	リップリー(口唇・口腔シート化粧品) ×1箱(10枚入り)		

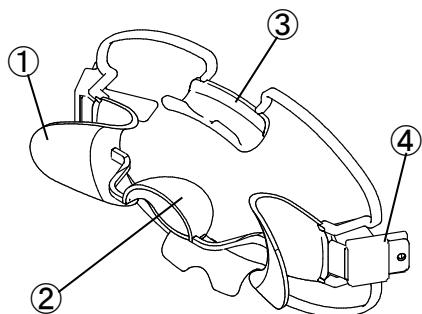
各部名称

(1) 本体



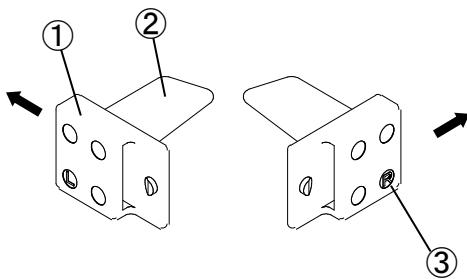
部品番号	名 称	備 考
1	本体力バー	
2	クリップ	左右2箇所
3	ストラップ用穴	1箇所
4	LED	90灯
5	排気口	左右2箇所
6	冷却ファン	3個
7	ケーブル	コントローラへ接続

(2) ブリリカ用開口器 (ブリリカ用開口器 SS)



部品番号	名 称	備 考
1	口角部	左右2箇所
2	舌固定部	
3	口唇部	上下2箇所
4	ハンドル部	左右2箇所

(3) アタッチメント

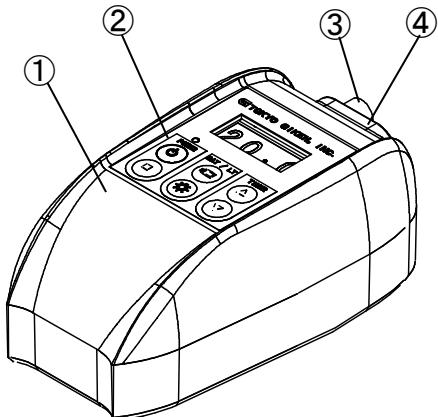


部品番号	名 称	備 考
1	装着穴部	ハンドル部に挿入
2	クリップ取付部	左右2箇所
3	左・右表記部	『L』は左、 『R』は右

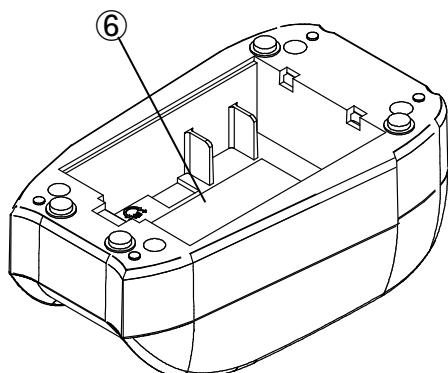
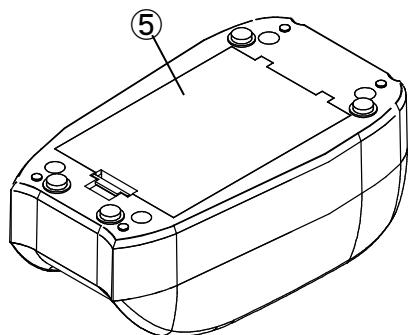
※矢印はブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS への装着方向

各部名称

(4) コントローラ

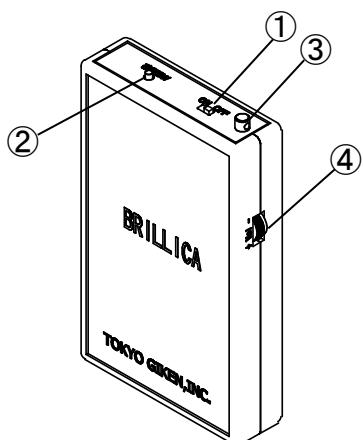


部品番号	名 称	備考
1	コントローラカバー	
2	操作スイッチ	
3	ケーブル接続部	
4	ACアダプタ接続部	
5	バッテリーケース	
6	銘板	



バッテリーケースを外した状態

(5) お知らせ受信機



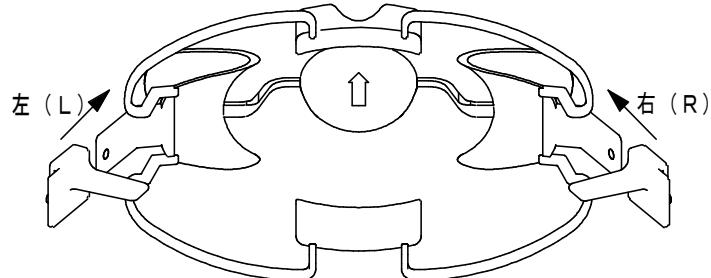
部品番号	名 称	備考
1	電源スイッチ	
2	確認スイッチ	
3	ストラップピン	
4	ボリューム	

初めてご使用になる前に

(1) ブリリカ用開口器およびブリリカ用開口器 SS にアタッチメントを装着します。

①下図のとおり、ブリリカ用開口器またはブリリカ用開口器 SS のハンドル部を正面にし、舌固定部に表記されている矢印を上に向かせます。この時の位置を正面とします。

②ハンドル部に左・右アタッチメントの装着穴部をそれぞれカチッと音がするまで押し込みます。
この時アタッチメントのクリップ取付部が内側を向くようにしてください。



⚠ 注意

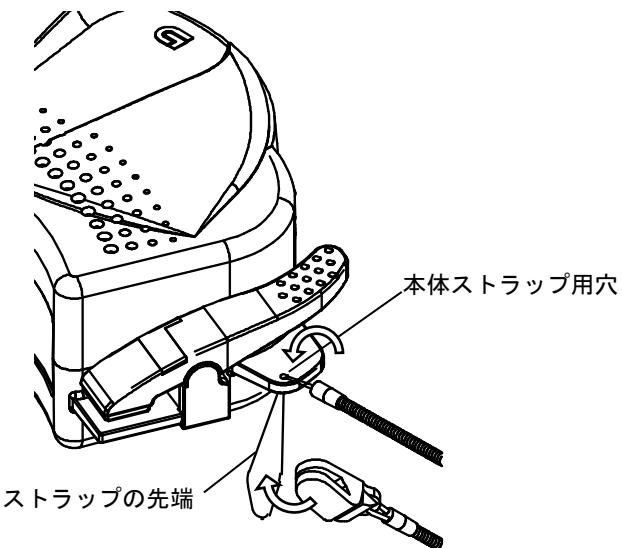


- 指示
- ・アタッチメントを装着する際は左右および上下を間違えないようにすること。
 - ・本体のクリップはアタッチメントの先端がクリップの壁に突きあたるまで深く取り付けること。
 - ・装着後はアタッチメントが抜けないことを確認すること。
 - ・アタッチメントは一度装着させた後は取り外す必要はないため、無理に外そようとしないこと。

(2) 本体にストラップを取付けます。

①ストラップの先端を本体ストラップ穴に通します。

②通した先端にストラップを通します。



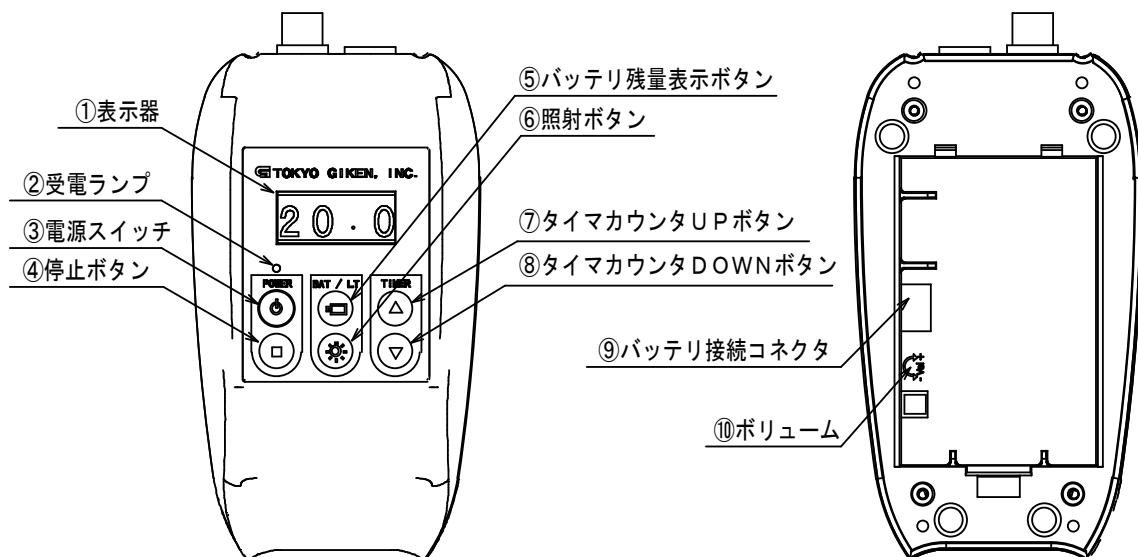
(3) コントローラにリチウムイオンバッテリを取り付けます。

取付方法は、P. 18 【着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）】をご確認ください。

(4) お知らせ受信機に単4形アルカリ電池を入れます。

取付方法は、P. 18 【着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）】をご確認ください。

コントローラ 詳細説明



バッテリーケースの蓋を外した状態

①表示器

- ・照射時間、バッテリ残量などの表示をします。(詳細は下の表をご覧下さい)

表示	状態	備考
00.0~20.0	タイマ表示	0.5分間隔
bt0~bt4 ※1	バッテリ残量表示	bt0、bt1は表示が点滅
Er1~Er8 ※2	バッテリエラー	Er1: バッテリ温度異常エラー Er2: ローバッテリエラー Er4: 充電不可エラー Er8: バッテリ保護回路動作
ErP ※2	システムエラー	

※1 バッテリ残量表示の詳細は P13. 【バッテリ残量表示について】をご確認ください。

※2 エラーの内容は P20. 【トラブルシューティング】をご確認ください。

- ・照射が完了するとアラームが鳴ります。
- ・照射中はタイマカウンタの小数点が点滅します。

②受電ランプ

- ・リチウムイオンバッテリの充電中は橙ランプが点滅します。
- ・充電が完了すると橙ランプは消灯します。
- ・電源スイッチを ON にすると緑色に点灯します。

③電源スイッチ

- ・電源を ON/OFF します。
- ・電源を ON してから 5 秒間は、表示器にバッテリ残量が表示されます。

④停止ボタン

- ・緊急停止中に押すと、タイマカウンタがリセットされます。

⑤バッテリ残量表示ボタン

- ・タイマ表示とバッテリ残量表示の切り替えができます。
- ・照射中、緊急停止および充電中はボタンを押しても切り替わりません。

コントローラ 詳細説明

⑥照射ボタン

- ・照射を行います。
- ・緊急停止中に押すと、照射を再開します。
- ・電源が OFF の状態では動作しません。

⑦タイマカウンタUPボタン／⑧タイマカウンタDOWNボタン

- ・タイマ設定に用います。
- ・タイマは 0.5 分～20 分の間で 0.5 分単位の設定ができます。
- ・電源が OFF の状態では動作しません。

⑨バッテリ接続コネクタ

- ・付属のリチウムイオンバッテリを接続して下さい。
- ・長期間使用しない場合はリチウムイオンバッテリを外して保存して下さい。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・当社指定のリチウムイオンバッテリ以外は使用しないこと。・濡れた手でリチウムイオンバッテリのコネクタに触れないこと。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・使用前にコネクタの接続がされているか確認すること。

⑩ボリューム

- ・アラームのボリュームを調整します。
- ・マイナスドライバーなど、先端が細いものでボリュームを回して下さい。

バッテリ残量表示について

- ・リチウムイオンバッテリの残量をコントローラで確認することができます。
- ・バッテリ残量は bt0～bt4 の 5 段階で表示されます。
- ・コントローラの電源を ON した際に、表示器に 5 秒間残量が表示されます。
- ・コントローラの電源が ON の状態でバッテリ残量表示ボタンを押すと表示が切り替わります。

ローバッテリアラーム機能

- ・照射中にリチウムイオンバッテリの残量が減ってくると、アラームとともに表示器の表示が bt0 で点滅します。
※アラームが鳴り始めた場合は、コントローラに AC アダプタを接続してご使用ください。
- ・アラーム音は、AC アダプタを接続するか操作スイッチのいずれかを 1 回押せば止めることができます。
- ・お知らせ受信機をご使用の場合は、お知らせ受信機もアラーム通知され、確認スイッチを押すことでコントローラのアラーム音も停止します。

エラー表示について

- ・エラーの状況を、エラーアラームとともに表示器にお知らせします。

①バッテリエラー

- ・バッテリに異常が起きた場合に、エラーアラームとともに表示器にEr1～Er8のいずれかが表示されます。
(各エラーの詳細はP20.【トラブルシューティング】をご確認ください。)
- ・エラーが起きた場合、照射は強制終了されます。
- ・エラー音は操作スイッチのいずれかを押せば止めることができます。
- ・お知らせ受信機をご使用の場合は、お知らせ受信機もエラー通知され、確認スイッチを押すことでコントローラのアラーム音も停止します。

⚠ 注意



- ・バッテリ温度異常・充電不可エラーが起きた場合、使用を中止して購入先または当社まで連絡すること。

②システムエラー

- ・システムの内部に異常が起きた場合に、エラーアラームとともに表示器にErPが表示されます。
- ・エラーが起きた場合、照射は強制終了されます。
- ・エラー音は操作スイッチのいずれかを押せば止めることができます。

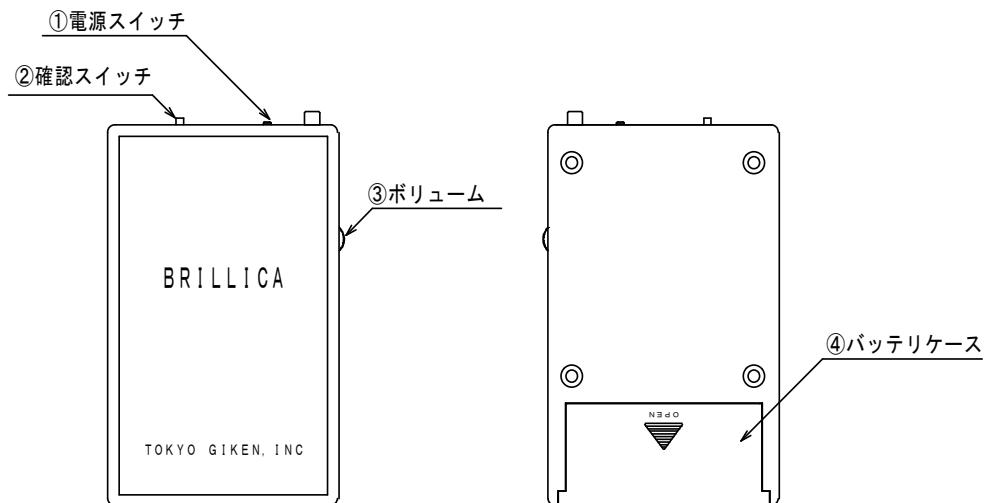
⚠ 注意



- ・システムエラーが起きた場合、使用を中止して購入先または当社まで連絡すること。

※各エラーの内容はP20.【トラブルシューティング】をご確認ください。

お知らせ受信機 詳細説明



①電源スイッチ

- ・電源を ON／OFF します。
- ・電源を ON すると確認スイッチの LED が点灯します。

⚠ 注意



- | | |
|----|---|
| 指示 | <ul style="list-style-type: none">・使用時以外は電源スイッチを必ず OFF にすること。・電源 ON 時にスイッチ内部 LED が点灯していない場合は、一度電源を入れ直すこと。
それでも LED が点灯しない場合はバッテリ交換を行うこと。・電源 ON 状態で確認スイッチの LED が点滅している時はバッテリの残容量が少なくなっているため、バッテリ交換を行うこと。 |
|----|---|

②確認スイッチ

- ・受信時のアラームおよびバイブレータを停止します。
- ・スイッチ内部にある LED が点灯している間は使用可能です。
- ・電源スイッチが ON の状態で LED が点滅している場合はバッテリ交換を行って下さい。

③ボリューム

- ・受信アラームのボリュームを調整します。

④バッテリーケース

- ・お知らせ機能受信機を使用する時は単4形アルカリ電池を2本ご使用下さい。

⚠ 注意



- | | |
|----|--|
| 禁止 | <ul style="list-style-type: none">・お知らせ受信機はアルカリ電池以外を使用しないこと。 |
|----|--|

お知らせ機能

- ・本体の照射終了・緊急停止・ローバッテリアラームで、お知らせ受信機のアラームおよびバイブルータが動作します。
- ・確認スイッチを押すとアラームとバイブルータが止まり、同時にコントローラのアラーム音も止まります。
- ・電源 ON の状態でコントローラの電源を ON すると、アラームとバイブルータが1回動作します。

使用方法

- (1) リップリー(口唇・口腔シート化粧品)を用い、粘膜・口唇の保護を行います。
詳しい装着方法についてはリップリー(口唇・口腔シート化粧品)個装袋裏面をご参照ください。
- (2) ブリリカ用開口器を患者に装着します。
- ①アタッチメントを装着したブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS の舌固定部の矢印表記を上顎に向け、口角部を患者の口角に装着します。
- ②口唇部を患者の口唇に装着します。

⚠ 注意



- ・患者に装着する際はハンドル部またはアタッチメントを持つようにすること。
・患者に装着する際は左右および上下を間違えないようにすること。
・ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS は装着前に必ず洗浄、消毒、滅菌を行うこと。
(P19. 日常点検・定期点検をご確認ください。)

- (3) 患者に保護めがねを着用させてください。

⚠ 注意



- ・使用後はレンズ及びフレームの汚れを落とし、粉塵が付着しないよう専用のケースに入れて直射日光の当たらない冷暗所 (0~40°C) に保管すること。

- (4) リチウムイオンバッテリをバッテリ接続コネクタに接続します。

⚠ 注意



- ・濡れた手でリチウムイオンバッテリのコネクタに触れたり、本体・コントローラ・お知らせ受信機を操作したりしないこと。

- (5) お知らせ受信機の電源スイッチを ON にして確認スイッチの LED が点灯することを確認します。

- (6) コントローラの電源スイッチを ON にし、受電ランプが緑色に点灯していることを確認します。
※電源 ON 時に表示されるバッテリ残量が「0」または「1」の場合は AC アダプタを接続して充電を行いながらの使用を推奨します。

- (7) 患者の歯牙に漂白剤を塗布します。

- (8) 患者に装着したブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS に本体を取り付けます。

- (9) ストラップのクリップを患者の衣服に固定します。

- (10) タイマカウンタを設定します。

- (11) 照射ボタンを押します。

- (12) タイマ設定時間が経過すると、完了アラームが鳴り照射が終了します。

※お知らせ受信機をご使用の場合は、受信機側もアラームおよびバイブルーティが鳴ります。

使用方法

- (13) 照射が終了したら本体をブリリカ用開口器から取り外し、ブリリカ用開口器およびリップリー(口唇・口腔シート化粧品)を患者から取り外します。
- (14) 冷却ファンが止まつたら電源スイッチをOFFにして下さい。

⚠ 注意



指示

- ・照射終了後も1分間は冷却ファンが回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源スイッチをOFFにすること。
- ・本体落下防止のために、必ずストラップのクリップを患者の衣服に固定すること。
- ・1ヶ月以上使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてから、リチウムイオンバッテリのコネクタを外して保管すること。

(15) 使い終わったら

- ①P19.【清掃方法】に基づいて清掃を行います。
②使い終わった製品はP7.【輸送及び保管に関する環境条件】に基づいて保管を行ってください。

緊急停止する場合

- ①照射中はコントローラのどのボタンを押しても緊急停止となります。
②緊急停止中は中断アラームが鳴ります。
③緊急停止後に照射ボタンを押すと照射を再開します。終了させる際には停止ボタンを押してください。

⚠ 注意



指示

- ・停止後も1分間は冷却ファンが回り続けるため、冷却ファンが止まってから電源スイッチをOFFにすること。
- ・緊急事態に備え、緊急停止の方法を必ず患者に伝えておくこと。
- ・緊急停止のアラームが鳴った際には速やかに患者のもとに向かい適切な処理を行うこと。

充電方法

- ①リチウムイオンバッテリをバッテリ接続コネクタに接続します。
②ACアダプタをコントローラのACアダプタ接続部に接続します。
③ACアダプタを単相交流100Vに接続すると充電を開始します。
④充電中は受電ランプの橙が点滅します。
⑤受電ランプの橙が消灯したら充電完了です。

⚠ 注意



禁止

- ・濡れた手で作業をしないこと。



指示

- ・異常だと感じたらコントローラからACアダプタを外し、充電を中止して下さい。

着脱可能な部品（消耗品）

- ・リチウムイオンバッテリ
- ・単4形アルカリ電池
- ・ブリリカ用開口器
- ・ブリリカ用開口器 SS
- ・リップリー(口唇・口腔シート化粧品)

着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

(1) リチウムイオンバッテリの交換方法

【取り付け】

- ・ACアダプタが接続されていないことを確認してください。
- ・コントローラのバッテリケースのフタを外し、バッテリ接続コネクタにリチウムイオンバッテリのコネクタを接続してください。※接続後は必ずバッテリケースのフタを閉じてください。

【取り外し】

- ・電源OFF状態かつACアダプタが接続されていないことを確認してください。
- ・コントローラのバッテリケースのフタを外し、リチウムイオンバッテリのコネクタのツメを軽く押しながら、抜いてください。

⚠ 注意



- ・濡れた手でリチウムイオンバッテリのコネクタに触れないこと。
- ・コネクタを抜く場合はケーブルを引っ張らないこと。

(2) 単4形アルカリ電池の交換方法

【取り付け】

- ・お知らせ受信機のバッテリケースを外し、単4形アルカリ電池を入れてください。

【取り外し】

- ・お知らせ受信機のバッテリケースを外し、単4形アルカリ電池を外してください。

清掃方法

(1) 本体・コントローラ・お知らせ受信機

- ・本体、コントローラおよびお知らせ受信機の汚れを取る時は、柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて軽く拭いてください。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">・有機溶剤は絶対に使用しないこと。・濡れた手で作業をしないこと。
	<ul style="list-style-type: none">・必ずリチウムイオンバッテリを抜いてから行うようにすること。・上記以外の方法による洗浄は行わないようにすること。

(2) ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS

- ・口角鉤ダブルワイダーの電子添文(添付文書)をご確認ください。

口角鉤ダブルワイダーの添付文書は電子化に伴い廃止となりました。
口角鉤ダブルワイダーの箱に貼付けしてある GS1 バーコードを
アプリ（添文ナビ）にて読み込み電子添文をご確認ください。



添文ナビ

(3) 保護めがね

- ・使用後は中性洗剤を薄めた液に浸し、指先で汚れを落とします。
- ・水洗いをし、柔らかい布で押し取るように水分を取り、自然乾燥させます。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">・有機溶剤は絶対に使用しないこと。
---	---

日常点検・定期点検

日常点検（使用者による点検）

始業前	装置の外観・構成品に異常がないことを確認。	ヒビ・変形などがないかご確認ください。
患者ごと	ブリリカ用開口器、又はブリリカ用開口器 SS の洗浄、消毒又は滅菌。	口角鉤ダブルワイダーの電子添文をご確認ください。 口角鉤ダブルワイダーの添付文書は電子化に伴い廃止となりました。口角鉤ダブルワイダーの箱に貼付けしてある GS1 バーコードを アプリ（添文ナビ）にて読み込み電子添文をご確認ください。
終業後	本体・コントローラ・お知らせ受信機・保護メガネの清掃。	本取扱説明書の P19. 【清掃方法】をご確認ください。

定期点検（使用者による点検）

1ヶ月ごと	コントローラの動作確認。	本取扱説明書の P12. 【コントローラ 詳細説明】をご確認ください。
3年ごと	リチウムイオンバッテリの交換	本取扱説明書の P18. 【着脱可能な部品の着脱方法】を確認してください。

異常が感じられた場合は、コントローラ内部のバッテリコネクタを外し、購入先または当社までご連絡ください。

トラブルシューティング

(1) バッテリに異常が起きた場合

エラー アラームとともに表示器に Er1～Er8 のいずれかが表示されます。エラー内容は下表をご確認ください。

表示	エラー内容	エラー解除方法	エラー後の対応
Er1	バッテリ温度異常	バッテリ温度が一定温度に下がるまで、お待ちください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。
Er2	ローバッテリエラー	ACアダプタを接続してください。	充電後、そのままご使用ください。
Er3	Er1とEr2が同時に起きています	バッテリ温度が一定温度に下がるまで、お待ちください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。
Er4	充電不可エラー	ACアダプタを外してからバッテリのコネクタを外してください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。
Er5	Er1とEr4が同時に起きています	ACアダプタを外してからバッテリのコネクタを外してください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。
Er6	Er2とEr4が同時に起きています	ACアダプタを外してからバッテリのコネクタを外してください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。
Er7	Er1とEr2とEr4が同時に起きています	ACアダプタを外してからバッテリのコネクタを外してください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。
Er8	バッテリ保護回路動作	ACアダプタを接続してください。	充電後、そのままご使用ください。 ※バッテリ保護回路動作のエラーが出た場合は、バッテリがダメージを受け、照射可能時間が短くなっている恐れがあります。

※エラー音は操作スイッチのいずれかを押せば止めることができます。

※お知らせ受信機をご使用の場合は、お知らせ受信機もエラー通知され、確認スイッチを押すことでコントローラのアラーム音も停止します。

(2) システムに異常が起きた場合

エラー アラームとともに表示器に ErP が表示されます。

表示	エラー内容	エラー解除方法	エラー後の対応
ErP	システムエラー	ACアダプタを外してからバッテリのコネクタを外してください。	使用を中止して、購入先または当社までご連絡ください。

※エラー音は操作スイッチのいずれかを押せば止めることができます。

上表以外で異常を感じられた場合は、ご自身で分解修理は絶対に行わず、購入先または当社までご連絡ください。

本体・コントローラ

電源入力	DC7.2V (リチウムイオンバッテリ)
連続使用可能時間（満充電時）	約 90 分
充電時間	約 180 分
お知らせ受信機との通信電波周波数	2.4GHz 帯
電撃に対する保護の形式	内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	B 形装着部
作動モード	短時間運転(20 分定格)
水の浸入に対する保護の程度	IPX0
空気・可燃性ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全性の程度	可燃性ガス、又は亜酸化窒素・可燃性麻酔中での使用に適さない機器
光源	Φ3LED
波長	400~480nm
照射時間	0.5 分~20 分(0.5 分単位でタイマ設定)
光出力	100mW/cm ²

ACアダプタ

電源	単相交流 100V
電源入力	0.3A
周波数	50/60Hz

お知らせ受信機

電源	単4形アルカリ電池 2 本
電波周波数	2.4GHz 帯

※記載された数値は保証値ではありません。

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

MEMO

MEMO

アフターサービス

保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
保証期間は1年間です。
保証期間中の修理は保証書の記載内容により無償修理いたします。
保証期間経過後の修理は、購入先または当社までご相談ください。

保証書

本証書は、本証書に記載された製造番号（シリアル番号又はロット番号）の商品が、当社に於いて入念に製作し厳密な検査を完了して出荷されたものであることを証明し、かつ納入後1年以内に万が一発生した自然故障に対し、当社が無償修理の責任を負うことを保証するものです。

製品名 製造番号 (シリアル番号 又は ロット番号)	当社指定の製造番号が入ったシールを 貼付していないものは無効です
※ご住所	〒 TEL ()
※ご芳名	様
※納入日	年 月 日
保証期間	納入日より1年間
※販売店名	

※ご住所・ご芳名・納入日・販売店名の欄に記載がない場合は無効になります。

保証内容

- (1) 「正常な使用状態」において「製造上の責任」による故障について保証適用します。
- (2) 次の場合は保証期間中でも「有償修理」となります。
(イ) 取扱説明書及び添付文書等に記載された注意事項・使用環境・使用方法
・日常点検及び保守点検等を遵守しなかったことによる故障
(ロ) 火災、地震等天災又は異常電圧等による故障
(ハ) 保証書の所定事項の未記入、押印もれ、又は文字を勝手に訂正された場合等
(二) 製品に付属している消耗品等
- (3) 保証期間経過後又は保証適用外の故障につきましても、誠意をもって
修理いたします（実費修理となります）

歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー



URL: <http://www.tokyogiken.com> E-mail: TG@tokyogiken.com

本 社: 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
TEL: 03-3703-5581(代) FAX: 03-3705-1760

大 阪 支 店: 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5
TEL: 06-6368-8877 FAX: 06-6368-8876

仙 台 営 業 所: 〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4
TEL: 022-371-9651 FAX: 022-371-9653

名 古 屋 営 業 所: 〒465-0007 名古屋市名東区香坂1001
TEL: 052-776-3355 FAX: 052-776-3356

福 岡 営 業 所: 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7
TEL: 092-411-0377 FAX: 092-411-0376

横 浜 工 場: 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

TGYA1-01V-15001F
B1682-07-K002H